



長期留学体験談（イギリス・オーストラリア）

2019年度 ローハンプトン大学（イギリス）

R.K.(国際交流学科 2019(R元)年度留学)

私は、8月から英語圏以外の留学生のための英語コースを1か月履修しました。その授業では、本科が始まったらどのようにレポートを書くのか、など現地の学生が9月から混じって授業する際、困らないようにするためのコースでした。初めは、周りの子が手を挙げて積極的に発言しているのに圧倒され、自分から発言する勇気がなく、とても悩みましたが、次第に慣れて発言できるようになりました。しかし、本科が始まり、イギリスやヨーロッパの学生と共に授業を受けると英語力の足りなさを実感し、授業をどうしたらついて行けるのか常に試行錯誤しました。

日本ではアルバイトをする学生が多いですが、イギリスでは勉強がとても忙しいのでアルバイトをしている学生はあまりいませんでした。日本では一学期間に履修する授業数がとても多いですが、イギリスは一学期間に平均で4つしか授業を履修しません。初め時間割を見た時は少なすぎる気がして拍子抜けしましたが、授業が始まってみると、毎週課題が出され、予習復習課題をこなし、一つの科目に対して向き合う時間が多いからなのだと理解しました。また、日本では1コマ90分授業でしたが、イギリスでは3時間で授業時間がとても長いです。最初の1時間は日本と同じように教授が一方向的に学生にレクチャーをする形式で、残り2時間は事前に予習で与えられた資料や書物に基づいて学生や教授とディスカッションをするという形式でした。私は外国人だったので現地の学生以上に勉強しないといけないということが難しく、慣れるまでとても大変でした。

私が留学したローハンプトン大学はイギリス人だけでなく、ヨーロッパの様々な国から来ている学生やロシア、アメリカ、アジア、中東、南米、アフリカなど本当に国際色豊かでとても刺激的でした。また、試験前は図書館が24時間オープンしていたのも驚きでした。図書館はすごく綺麗で、広く、地下には売店や食べながら勉強するスペースがあり、パソコンルーム、会議室、など設備が整っており、イギリスの学生はとても恵まれていると感じました。

キャンパスは自然豊かで、大きい池にカモが泳いでいて、木にはリスが行き来しており、季節ごとに花が咲き、お城のような建物が建っていてとても美しかったです。また、冬にはトナカイが展示されていて、初めて間近で見ると感動しました。キャンパス内にはジムやバー、カフェテリアなど施設も豊富で快適でした。

2019年度 ローハンプトン大学（イギリス）

H.Y.(心理学科 2019(R元)年度留学)

元々留学に対して華やかな印象を持っており、行く前も特別構えることなく、気づけば出発の日でした。留学中は寮暮らしだったため、初めての一人暮らし、慣れない環境や英語での生活など日本を離れた後に不安が押し寄せてきました。

心理学科は少し他の学科と違う授業制度であったこともあり、通年の授業の単位を半期でとります。人の倍のエッセイを半期で書く上に書き方も違ったため、戸惑うことが多々ありました。毎日エ

ッセイに追われ、土日は出かけても頭の片隅にはエッセイが気がかりで、完全に楽しむことができませんでした。10月は、エッセイを書くため図書館と部屋を行き来する毎日で一番辛い時期でした。1つのエッセイを書くのに参考文献を100ページ近く読まなければならなかったため、書きあげるのに時間がかかりました。授業での課題は少なかったですが、その分予復習に時間をとらないと授業についていくのが大変でした。しかし、11月に入ると半分のエッセイを書き終えることができ、週末の外出も心から楽しむことができ、切り替えの重要性を実感しました。

留学中は1日5時間以上勉強することが当たり前で、授業も課題も苦労しましたが、先生方がとにかく優しく、どんな時でも献身的に支えてくださりとても心強かったです。